

ごあいさつ

皆様には、平素より東和銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

本年も、当行に対するご理解を一層深めていただくために、ディスクロージャー誌「東和銀行レポート平成31年3月期」を作成いたしました。本誌では、2018年度の業績を中心として、できるだけ詳しく紹介させていただいておりますので、ご参考にしていただければ幸いです。

2018年度のわが国経済は、4-12月期に天候不順や自然災害等による景気下押し要因があったものの、雇用・所得環境の改善を背景にした個人消費の持ち直しや好調な企業業績に支えられた設備投資需要が下支えとなり、緩やかな回復基調を維持しました。ただし、1-3月期には、米中貿易摩擦による輸出環境の悪化や国内需要の低迷により、回復基調の足取りが弱まりました。

また、金融を取り巻く環境は、「マイナス金利」及び「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が継続されており、極めて緩和的な状況が続いています。

このような経済状況のもと当行は、経営強化計画「プランフェニックスV」に基づき、「靴底を減らす活動」「雨でも傘をさし続ける銀行」「謙虚さのDNAを忘れない銀行」の3つをモットーに、お客さまの「本業支援」「経営改善・事業再生支援」「資産形成支援」に取り組む「TOWAお客様応援活動」の実践により、お客様の企業価値の向上と当行の収益力の向上を図る「共通価値の創造」に取り組むことで、お客様と当行の双方で持続可能性のある発展を目指してまいりました。これは、SDGs (Sustainable Development Goals) そのものであると考えており、「お客様と当行のSDGs (持続可能な発展目標) の推進」(*)をキーワードに、お客様応援活動の強化・深化に取り組んでまいりました。

(※) 当行は、お客様と当行の持続的な発展を目指す観点から「持続可能な発展目標」としてあります

本業支援では、お客様同士を繋ぐビジネスマッチングや大手企業との川下・川上マッチング事業の開催、大手工業系・大手食品系との個別商談会の開催に取り組みました。また、他行に先駆けて取り組んできた「ものづくり補助金」の申請支援は、リレバン推進部お客様応援室と外部コーディネーターが連携して、申請支援に取り組んだ結果、3年連続で群馬県・埼玉県などの金融機関を上回るトップの採択数となりました。また、関東経済産業局と連携して専門知識や経験を持つ大手企業OBと専門人材の不足に悩むお客様の橋渡しをする「新現役交流会」を2014年7月に地方銀行として初めて開催して以降、これまでに群馬県と埼玉県で計6回の実績となっております。地元大学との連携については、群馬大学と高崎経済大学、放送大学において、当行の役職員が世界経済、日本経済の現状から地域金融機関の社会的役割など、実際に金融実務に携わる立場からの視点を踏まえた、正式な単位を持つ講義として開講しております。また、高い技術力を持つ取引先企業の更なる技術開発・商品開発を支援するため、群馬大学・前橋工科大学との共同研究開発支援に取り組んでおります。

海外進出や輸出入に関心のあるお客様への海外進出支援については、国際部海外進出支援チームによる58ヶ国38機関との海外ネットワークを活用した各種情報提供や業務提携先と連携した取組

みを強化・拡充して積極的にサポートしてまいりました。

経営改善支援・事業再生支援では、審査管理部企業支援室を本部6名と営業店を10グループ化し各母店に駐在する10名の専担者を配置し体制を強化して、お客様への直接訪問による実態把握や経営改善計画の策定支援に取り組んでおります。母店駐在の専担者がブロック内の営業店訪問時に営業店担当者を同行させることで、経営改善・事業再生手法や事業性評価の全行的な浸透を図っております。

資産形成支援では、人生100年時代の資産形成支援を行っていくため、地域金融機関の投信営業に精通した運用助言会社と提携し、低リスク低リターン商品の提供を主とするお客様本位の新しい投信営業スタイル獲得を目指すこととし、プロジェクトチームを立ち上げ、本店営業部のお客様に試行的マーケティングを行ってまいりました。

このような、お客様の本業支援や経営改善・事業再生支援、資産形成支援に積極的に取り組んだ結果、2019年3月末の預金残高は前年同期比74億円増加の1兆9,602億円、貸出金は同258億円増加の1兆4,365億円となりました。また、2018年度の収益状況につきましては、コア業務純益75億円、経常利益64億円、当期純利益53億円を計上することができました。

また、経営強化計画の着実な遂行による収益力強化が図れ、利益剰余金の積み上げができたことから、2018年5月11日に公的資金350億円のうち200億円を返済いたしました。今後も、「TOWAお客様応援活動」の全行的・継続的な取り組みにより、残りの公的資金150億円の早期返済に向けた資本の充実を図ってまいります。

当行は、今後もビジネスモデルである「TOWAお客様応援活動」をさらに強化・深化させて、地域経済の持続的な発展に寄与するとともに、当行自身も持続的な発展を目指してまいりますので、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



2019年7月

株式会社 東和銀行
代表取締役頭取

吉永國光